



やまもとりょうすけ
山本亮介 議員
YAMAMOTO Ryosuke

Q. 町独自の学生支援を

A. 各種支援策の動向を注視する

18歳	132人
19歳	161人
20歳	148人
21歳	164人
22歳	176人
合計	781人

新型コロナウイルス感染症対策は、町の努力でさまざまな支援が行われている。しかし、コロナとのたたかいは、まだまだ続く。個別・中長期的な支援を考えていく必要がある。そこで対策のさらなる拡充を求め、質問をする。



対策の一つとして、大学生、短大生、専門学校生など学生への支援を求める。



18歳から22歳は何人が。生活福祉部長
令和2年4月1日現在、781人である。



豊山町第5次総合計画では二人ひとりが輝く暮らし豊かなアーバンビレッジをまちの将来像に設定している。一人ひとりが輝く中に学生も含まれているのではないかと。しかし、残念ながら学生に対する施策はつもない。

新型コロナウイルスは、学生にも大きな影響を与えている。このような状況下における学生生活の実態をどのように受け止めているか。



生活福祉部長
新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受け、世帯収入やアルバイト収入の激減などにより、学生生活においても経済的な影響が顕著となっている。

また、家庭から自立した学生が大学などを中退せざるを得ないような事態も報道されている。感染症の拡大により学生生活の実態が厳しい環境下にあることは認識している。



学生が安心して、それぞれの場所で学ぶことができるよう、町独自に学生支援給付金事業を行ってはどうか。

学生支援給付金事業（山本案）

目的	コロナ状況下における学生生活の経済的支援
対象者	町内に住民票がある学生
給付金額	3万円
必要なもの	・住民票 ・学生証のコピー



生活福祉部長
国は学生支援緊急給付金として最大20万円の現金給付をしている。また、日本学生支援機構は低所得世帯を対象とした授業料の減免や奨学金の給付を4月から行っている。

その他、各大学では授業料の免除や納付猶予のほか、支援金の給付などを独自に行っている。

こうした現状から、引き続きその動向を注視しつつ、



感染の第2波、第3波があると言われており、予防の観点からマスクも手放せない。そこで、全世帯にサージカルマスク1箱を配布してはどうか。



生活福祉部長
これまで町内の12医療機関に対し、マスクを3200枚配布している。保育園の園児、保育士、小中学校には、寄付していただいたマスクなどを配布した。また、国から学校の児童生徒や教職員、高齢者施設の利用者や職員、妊婦などに対し、マスクの配布が行われた。今後予想される感染症の第2波や第3波に備え、引き続き備蓄管理を行っている。

